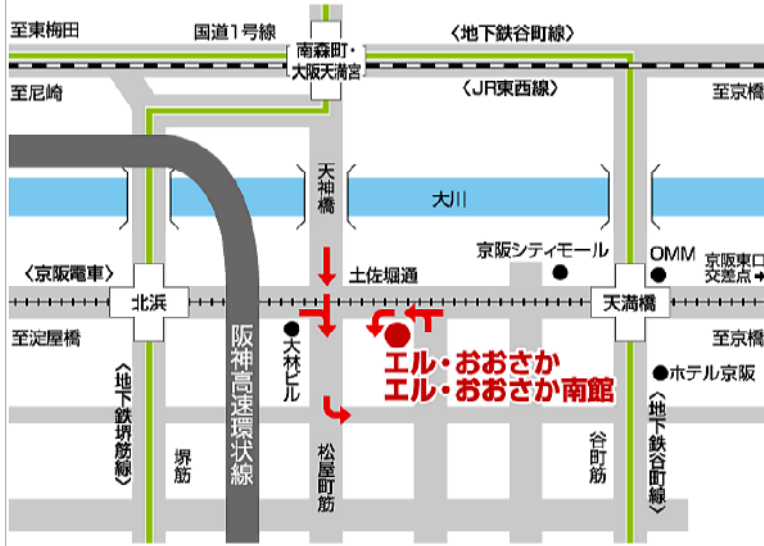


(参加申込み方法)

1. 下記の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送またはファックスでお送り下さい。
(ファックスで申込みされた場合は、原本の郵送は不要です)
2. 申込締切日 平成23年2月1日(火)

研修場所



大阪府労働センター(エルおおさか)

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14
TEL 06-6942-0001

京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m
京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ 500m
地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ 1,200m
JR 東西線「大阪天満宮駅」より南へ 850m

現場改善力研修会 参加申込書

FAX 06-6282-5699

大阪府品質管理協会 宛

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4 丁目 3 番 6 号 大阪府商工会館 3 階
TEL 06-6251-9067 FAX06-6282-5699
E-mail : info@hinkyo.com URL : http://www.hinkyo.com

所在地 〒

会社名

業 種

TEL ()

FAX ()

メールアドレス

申込責任者

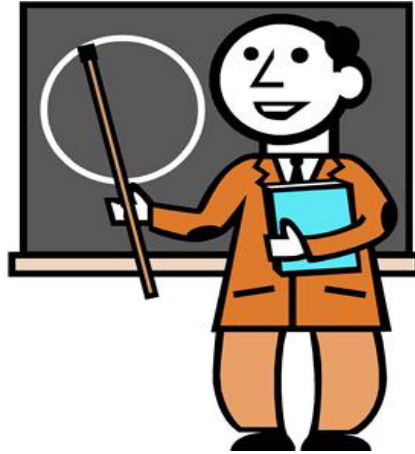
申込者所属

注) 所属・役職名は必ず記入して下さい。

	氏 名	年 齢	所 属	役 職
1				
2				
3				
4				
5				

現場改善力研修会

～ シンプルな改善（ムダ取り）の実践方法～



雇用調整助成金及び中小企業緊急雇用安定助成金の対象になります。
(詳細につきましては管轄のハローワークにお問い合わせください。)

- 日 時 : 平成23年2月9日(水)、10日(木) 9:00～17:00
2日間コース
* 全日程を受講された方には修了証をお渡しいたします。
- 場 所 : 大阪府労働センター(エルおおさか)
- 定 員 : 30名 (定員になり次第締切らせていただきます。)
- 申込締切日 : 平成23年2月1日(火)
- 参加費 : *1名につき30,000円 (会員企業 20,000円) (テキスト代を含む)
- * 振込先 三菱東京UFJ銀行 心斎橋支店 普通預金 0024591
口座名 大阪府品質管理協会 清水康敬 (しみずやすひろ)
- * 既納の参加費は返却しかねますので、予めご了承下さい。
- * 開催日の3日前以降のキャンセルは参加費全額お支払い頂きます。

主 催 大 阪 府 品 質 管 理 協 会

本コースのねらい

本研修は、現場改善力の育成を目的とする、演習を中心とした実践型の研修です。
既存の手法に捉われず、出来る限りシンプルに現場改善に必要な考え方や方法を解説し、演習します。
現場改善力として、現状を分析する力、次に分析した要素からムダに着眼しムダを排除する力、そして、ムダを排除して作業を組立て設計する力を、ストーリー建てで解説します。
先ず講義により理解し、次に演習により実際に体を動かしながら体験することにより気づきを促し、知識から更に現場改善を実践する力の育成をねらいとします。

【対象者】

現場改善推進者、作業現場リーダー、グループ責任者

【研修の流れ】

組立を主体とした模擬ラインの改善を中心に進める
ビデオを活用して現状把握と分析を行う
分析したデータから、ムダに着眼し、ムダと付加価値の仕分けを行う
全体最適を狙いに作業要素をつないで作業設計を行う
また、複雑な問題解決に必要な真因追求について研究する

【研修の特徴】

- * メンバー全員で、演習グッズを使いながらラインを作り、ムダを考え、改善案を実現します。改善の過程を体験しながら、一人ひとりにムダに対する気づきを促します。
- * メンバー全員で、役割分担しながら、共同で一つの案にまとめ、実践し修正しながら、協調して改善を進めます。

【修得する主な内容】

実践的なIE手法
(ワークサンプリング、動線(流れ線)図、作業要素分析、作業組合せ表(タイミングチャート図))
ムダ取りの実践方法
(ムダの着眼方法、ECRS、トヨタ生産方式の基本、標準作業の考え方)
TPM手法
(原理原則の考え方、なぜなぜ分析(真因追求方法))
5Sの考え方

= 講師 =

香川改善オフィス 代表 香川 博昭 先生

日本科学技術連盟 「現場力向上セミナー」講師
日本科学技術連盟 「現場のムダ取り実践セミナー」講師
大阪府工業協会 「現場改善の進め方研修」講師
NHKマネジメント教育研究所 「見る目が変わる生産革新IEコース」講師

= カリキュラム =

研修会場:大阪府労働センター(エルおおさか)

スケジュール

第1日目 2月9日(水)

	内容	時間 (分)	時刻	備考
1	ガイダンス	10	9:00~9:10	
2	講義 1:5S について	50	9:10~10:00	身近な5Sの事例研究 ・ビデオ視聴
3	講義 2:分析	40	10:00~10:40	分析手法概説
4	演習(演習1)	80	10:40~12:00	作業状況の現状把握 ・ビデオ分析 (現状作業のビデオ撮影と作業要素の分析)
5	昼食	60	12:00~13:00	
6	講義 3:着眼(ムダについて)	60	13:00~14:00	ムダの着眼点
7	演習(演習2)	120	14:00~16:00	ムダの仕分け (ムダと付加価値作業を仕分けする目を養う) ムダ取りの着眼
8	事例研究	60	16:00~17:00	ビデオ視聴

第2日目 2月10日(木)

	内容	時間 (分)	時刻	備考
1	1日目の振り返り	40	9:00~9:40	
2	講義 4:作業設計	40	9:40~10:20	作業標準づくり
3	演習 3(作業標準づくり)	100	10:20~12:00	作業設計の実践 ・作業設計の要素 ・作業の連結(連携化)
4	昼食	60	12:00~13:00	
5	講義 5:問題の真因を掴む	60	13:00~14:00	「なぜなぜ」分析概説
6	演習 4(なぜなぜ分析演習)	120	14:00~16:00	・原理、原則 ・真因の追求と対策立案
7	まとめ	40	16:00~16:40	
8	アンケート、終了証	20	16:40~17:00	

注：上記スケジュールは予定であり、進捗状況で多少変更もあります。

各自持参 ノート、筆記用具